

令和4年度 研修会(研修講座)の案内② ー学校支援訪問研修ー

富山県総合教育センター

・学校支援訪問研修は、県総合教育センター(科学情報部、教育相談部)が学校等に出向いて行う研修です。申込みは、学校から直接県総合教育センターに行う場合や市町教育センター及び小・中・高教研等の各種教育団体から県総合教育センターに行う場合があります。(「令和4年度教職員研修実施要項」参照)
 ・申込みに際しては、事前に科学情報部及び教育相談部担当者と打合せをお願いします。

研 修 会 名	研 修 内 容	期 日 ・ 会 場	申 込 要 領
理科実験・観察訪問研修	(1) 授業で使える楽しい教材・ものづくり しゃぼん玉遊び、飛行機作り、音遊び、静電気遊び、空気遊び、生き物に親しもう、鏡遊び、磁石遊び、風船ホバークラフト作り、風で動かそう、ゴムで動かそう、浮沈子で遊ぼう、噴水遊び、骨と筋肉の働き、小さな生き物の観察、電気遊び、熱気球作り、ローソクの科学、葉脈標本作り、星の学習、光の不思議、しんきろうの世界、簡易モーター作り、顕微鏡で見る世界、ぼんぼん蒸気船、砂の中の宝物探し、化石模型作り、バーチャル火山噴火、電気の利用、月の満ち欠け (2) 実験・観察における教材・教具の基本的な取扱い 電気を使った実験の基本操作、化学実験の基本操作(そのⅠ)、化学実験の基本操作(そのⅡ)、顕微鏡の基本的な扱い方、ガラス細工の基本操作 (3) 教科書と関連する実験・観察 物の温まり方、物質の3つのすがた、学校周辺の自然観察(3・4年)、試験管に雪を降らせよう、学校周辺の自然観察(5・6年)、川原の観察方法、電気の利用、水溶液の性質調べ、水溶液と金属の反応、動物の呼吸による二酸化炭素の発生、地層の観察方法、動物の体のつくり、てこのはたらき、学びを深める実験・観察 (4) 教科書の実験における不安解消のポイント 水の沸騰する温度、振り子の実験のポイント、電磁石の実験とポイント 電気の利用における実験、気体検知管の使い方 葉のデンプンの検出法、天体望遠鏡の使い方	<ul style="list-style-type: none"> サイエンスカー訪問校・実施機関・団体が希望する日 授業中は原則として15:00～17:00の間の1時間程度、夏季休業中は2時間程度 会場は、サイエンスカー訪問校(理科室等)・実施機関・団体が希望する場所 	<ul style="list-style-type: none"> 市町教育センターや小学校教育研究会等は、「令和4年度教職員研修実施要項」の様式3で県総合教育センター科学情報部へ直接申し込む。 小学校・義務教育学校(前)が研修を希望する場合は市町教育センターに連絡し、市町教育センターが、「令和4年度教職員研修実施要項」の様式3で県総合教育センター科学情報部へ直接申し込む。 サイエンスカー訪問校は、4月に関係学校へ別途配布する申込書で県総合教育センター科学情報部へ直接申し込む。
情報教育訪問研修	(1) 授業におけるICT活用 (2) 1人1台端末を使った授業実践 (3) 教育用クラウドプラットフォームの活用 (4) プログラミング教育 (5) アプリケーション等のスキル研修 (6) 著作権 (7) 情報モラル、ネットワーク社会で求められるルール (8) 情報セキュリティ ※詳細については、訪問校決定後に打合せをし、調整する。	<ul style="list-style-type: none"> 県総合教育センター職員が訪問可能な日で学校等が希望する日 時間帯は、学校等が希望する時間帯(1～2時間程度) 会場は、研修の内容に応じて学校等で設定された場所 	<ul style="list-style-type: none"> 「令和4年度教職員研修実施要項」の様式3で県総合教育センター科学情報部へ直接申し込む。
教育相談訪問研修 (学校・サテライト)	(1) 教育相談や生徒指導に関する研修 ・児童生徒理解とその対応 ・児童生徒が抱える問題から学ぶ事例検討 ・チームによる支援を促進するエピソードプロセスを用いたケース会議 ・教育相談部で相談を受けている児童生徒についてのケース会議 (2) 児童生徒の人間関係にはたらく発達促進的・開発的な育成プログラム研修 ・ソーシャルスキル・トレーニング ・ストレスマネジメント教育 ・アサーション・トレーニング ・対人関係ゲーム ・セルフ・エモーション・アプローチ ー自分自身の感じ方から自己理解を促すワークー ※ いくつかの育成プログラムを組み合わせるなど、詳しい内容については相談の上、実施 (3) 教師のためのメンタルヘルスに関する研修 ・自分も相手も尊重しよう ーアサーティブな考え方と自己表現ー ・みんなで知恵を出し合おう ーインシデント・プロセス法を通してー ・やわらかく考えよう ー考え方の「くせ」を見つけて心を楽しもうー ・自分の気持ちを話そう ーグループ活動でふれあいと自己発見ー ・あたたかくやりとりしよう ーソーシャルスキルを意識してー (4) 特別支援教育に関する内容 ・障害の理解や対応に関する講座 ・実態把握や指導目標設定の演習 ・事例検討 ※ 市町教育センター、小・中・高教研の各種教育団体が開催する教職員対象研修会が対象	<ul style="list-style-type: none"> 県総合教育センター職員が訪問可能な日で学校等が希望する日 会場は各学校、市町教育センター等 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に電話で日時、内容を相談の上「令和4年度教職員研修実施要項」の様式4で県総合教育センター教育相談部へ直接申し込む。